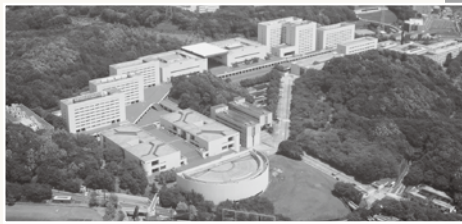


# 東アジアからヨーロッパへ「学術シルクロード」を構築



美しい地球環境を次世代に多摩キャンパスから世界に情報発信



上海国際シンポジウムの会場になった「上海環球金融中心」



創始者たちが学んだロンドンのミッドルテンブル

2010年に創立125周年を迎える中央大学。永井和之の学長に、同校が新たに進める国際化戦略の意義、具体的な取り組みについて聞いた。

## 中央大学の国際戦略を語る



中央大学総長・学長 永井和之

中央大学は一八八五年、英吉利法学校として産声を上げた。当時、日本では江戸末期に結ばれた不平等条約撤廃の機運が大いに盛り上がり、欧米諸国と互角に渡り、人材育成が急務とされた。本校の創立もそんな時代背景の中、国家において最も求められる人材を生み出すためであった。

「本学は、英吉利法学校として産声を上げた。当時、日本では江戸末期に結ばれた不平等条約撤廃の機運が大いに盛り上がり、欧米諸国と互角に渡り、人材育成が急務とされた。本校の創立もそんな時代背景の中、国家において最も求められる人材を生み出すためであった。」

## Interview

「本学は、英吉利法学校として産声を上げた。当時、日本では江戸末期に結ばれた不平等条約撤廃の機運が大いに盛り上がり、欧米諸国と互角に渡り、人材育成が急務とされた。本校の創立もそんな時代背景の中、国家において最も求められる人材を生み出すためであった。」

## メディアが大きく取り上げる 韓国からの視察申し込み殺到



本学初の海外での国際シンポジウム

六月五日、韓国・ソウル市内「韓国言論財団（プレスセンター）」において、中央大学創立百十五周年記念ソウル国際シンポジウムが開催された。来賓として、韓国、ソウル市、高善愛（ソプラノ）による歌曲の披露、より記念ソウルを盛り上げた。続くメモリアルシンポジウムでは、韓国、ソウル市、高善愛（ソプラノ）による歌曲の披露、より記念ソウルを盛り上げた。続くメモリアルシンポジウムでは、韓国、ソウル市、高善愛（ソプラノ）による歌曲の披露、より記念ソウルを盛り上げた。...

## 上海国際シンポジウム

### 東アジアの時代と大学連携



テレビ会議により学生同士の活発な議論が交わされた

## 日中連携・交流の第一歩築く 上海と多摩をTV会議で結ぶ

十一月八日、中国・上海市に竣工したばかりの上海環球金融中心において、中央大学創立百十五周年記念「上海国際シンポジウム」が開かれた。このシンポジウムは、世界に存在感のある中央大学を自覚し、東アジア経済圏形成における友好と交流の発展、国際交流活動を通じて、上海と多摩を結び、日中連携・交流の第一歩を築くことを目指している。...

## 「実地応用の素を養う」伝統今も 国際化時代に生きる建学の精神

「実地応用の素を養う」伝統今も 国際化時代に生きる建学の精神。人材育成が、グローバル時代の時代と大学連携をテーマとしたシンポジウムを開催し、この国際化時代の大きな目標実現のための第一歩として、上海と多摩を結び、日中連携・交流の第一歩を築くことを目指している。...

「実地応用の素を養う」伝統今も 国際化時代に生きる建学の精神。人材育成が、グローバル時代の時代と大学連携をテーマとしたシンポジウムを開催し、この国際化時代の大きな目標実現のための第一歩として、上海と多摩を結び、日中連携・交流の第一歩を築くことを目指している。...

## 広告

企画・制作 日本経済新聞社広告局 後半は東アジア経済フォーラム「東アジアの経済連携と

行動する知性。